

第2回成人ASD/PFOカテーテル治療研究会

期日： 2008年7月5日(土) 13:45～16:15

場所： 名古屋国際会議場4号館 431&432

会費： 2000円

主催： 成人ASD/PFOカテーテル治療研究会

後援： 日本心血管インターベンション学会・日本心血管カテーテル治療学会

日本 Pediatric Interventional Cardiology 研究会, 成人先天性心疾患研究会

第17回日本心血管インターベンション学会学術集会の第3日午後に、平山治雄会長の絶大なご理解を頂き、学会統合に向けて準備の進む成人心血管インターベンション領域の2学会、ならびに小児循環器分野のインターベンションを主導する日本 Pediatric Interventional Cardiology 研究会の後援の元に、第2回成人ASD/PFOカテーテル治療研究会を開催する事になりました。今回は欧州での熟達した経験を蓄積する Professor Horst Sievert をドイツより迎え基調講演をお願いし、さらに国内で既に治療を進める小児循環器センター施設から実際の症例を中心に提示頂き、循環器小児科医、循環器内科医と神経内科医が情報を共有し討論する場を提供致します。

小児領域が中心で進むASDカテーテル治療に加え、近い将来に加わる成人領域での脳卒中の原因となる卵円孔開存PFOへのカテーテル治療が、今後わが国にて安全・健全に普及できる診療体制を確立すべく、研究会として開催します。ご興味をお持ちの先生方は是非ともご参集いただければ幸いです。

代表 高山守正
(JSIC 非冠疾患侵襲治療委員会)

プログラム

13:45 Opening remarks: 高山守正 (榊原記念病院)

13:50～ 招請講演1 (15+5分) 座長: 小林俊樹 (埼玉医科大学)
“Catheter Closure of ASD in Adults: Indication, Technique and Outcome”
Dr. Jou-Kou Wang (National Taipei University Hospital)

14:10～ 招請講演2 (30+5分) 座長: 高山守正 (榊原記念病院)
井上直人 (仙台厚生病院)
“Current concept of PFO closure: Indication, Procedure, and Outcome”
Dr. Horst Sievert (Cardiovascular Center Frankfurt, Germany,
and Washington Hospital Center, Washington DC, USA)

14:45～16:05 (各15+5分)

座長: 赤木禎治 (岡山大学)
原 英彦 (東邦大医療センター大橋病院)

1. 心房中隔の解剖からみたASDとPFO (20)
講演: 中西敏雄 (東京女子医大 心臓小児科)
2. Stroke 発症例へのアプローチ: 神経内科の立場から (20)
講演: 松本典子 (川崎医科大脳卒中科)
3. Stroke 合併PFO例のカテーテル治療までのアプローチ: エコー診断と実際の治療 (20)
講演: 谷口 学 (岡山大学循環器疾患治療部)
4. 国内における今後の取り組み (20)
講演: 高山守正 (榊原記念病院 循環器科)

16:05 Closing remarks: 井上直人 (仙台厚生病院)

追記 ランチョンセミナー (12:30～13:30)

“Up-to-date of Catheter Closure for ASD and PFO: New Devices and New Evidences”
Dr. Horst Sievert (Cardiovascular Center Frankfurt, Germany)